

令和6年度学校経営方針

練馬区立大泉東小学校長
小須田 哲史

I 教育目標

《通常の学級》

〈誇りと自信をもつ子〉

○まなびつづける子 ◎おもいやりのある子 ○たくましい子

《さくら学級》

〈誇りと自信をもつ子〉

○さいごまでがんばる子 ◎なかよくする子 ○じょうぶでげんきな子

II 学校経営の基本的な考え方

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領等の法令に則り、「練馬区教育・子育て大綱」、「第3次練馬区みどりの風吹くまちビジョン」の理念と取組の方向性を踏まえて、
(通常の学級)

自己を磨き、人や地域、自然と豊かに関わり、基礎力、思考力、創造の知恵や実践力を備え、他者と協働して、高い志と意欲をもち、新しい時代を切り拓く資質・能力をもつ子供を育成する。

(さくら学級)

心身共に健康で、思いやりの心をもって、友達と仲良く学校生活を送り、子供一人一人が実態に応じた適切な支援を受けながら、自分の課題に最後まで、ねばり強く向き合う資質と能力をもつ子供を育成する。

III めざす学校像

子供も家庭も地域も学校も「WIN-WIN」になる

1 子供を大切にする

子供にとって、大東小で学ぶ喜びや楽しさを感じ、自己実現することで、「学校が好き」、「地域が好き」、「友達が好き」、「先生が好き」と心から思える、活気にあふれる学校

2 家庭と地域を大切にする

家庭や地域の方々にとって、豊かな関わり合いがあり地域と共にある学校づくりで、地域社会に貢献する「応援したくなる」学校

3 教職員を大切にする

教職員にとって、大東小のチームの一員としての「自覚と誇り、やりがい」をもち、大東小の子供のことを一番に考え職務に専念しながら教育の質を高める学校

4 安全・安心を大切にする

学校と家庭と地域が連携し、大東小の子供の安全・安心を最優先にし、交通安全、防災・防犯、感染症対策に取り組み、「居心地のよい教育環境」を整える学校

【四つのアップをめざして】

- 1 『大東小ミニマム』の徹底で**授業力アップ**
～テンポと楽しさと雰囲気のある授業を提供する～
- 2 地域の人材や魅力ある地域のよさの活用で**学びの楽しさアップ**
～地域と共にある学校をつくる～
- 3 響き合い学び合う「チームとしての大東小」で**学校力アップ**
～まなびとからだところを鍛える～
- 4 学校と家庭、地域が連携して**安全・安心アップ**
～子供の学びと生命・健康を第一に考える～

IV めざす学校に向けた具体的な取組方針

- 1 人権教育の理念を基に、教職員の人権意識を高めるとともに、全ての教育活動を通して、自分も人も大切にすると人権尊重の精神を醸成し、多様性、互いを認め合う教育を推進する。
- 2 子供一人一人の「生きる力」を支える確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和のとれた子供を育成するために、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき意図的・計画的に教育課程の計画・実施・評価・工夫改善を図る。
- 3 確かな学力を育むために、年間指導計画の下で、学習規律・習慣と基礎学力の反復・習熟を徹底し、知識及び技能を習得させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、課題解決のための思考力・判断力・表現力や学びに向かう力・人間性等を育成する。
- 4 豊かな人間性を育むために、年間指導計画の下で、各教科および特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間と特別活動を関連付け、特色ある教育活動を工夫する。
- 5 健やかな体力・健康を育むために、年間指導計画の下で、体育科の指導の工夫改善を図る。
- 6 一人一台端末等を効果的に活用した授業改善に取り組み、子供の情報活用能力を育成し、ICTを活用した指導に関する教員のスキルアップを行う。
- 7 特別支援教育を推進し、さくら学級（知的固定学級）およびいずみ教室（特別支援教室）における指導と通常の学級との連携を図りながら、子供の困難の状態や発達段階、特性に応じた適切な支援や指導を行って、子供一人一人のよさや能力を伸ばす。
- 8 家庭及び地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
- 9 子供と向き合う時間の確保や教員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備を行うとともに、更なる学校行事の実施方法・実施内容の改善、教員業務の見直しや業務改善を進める。